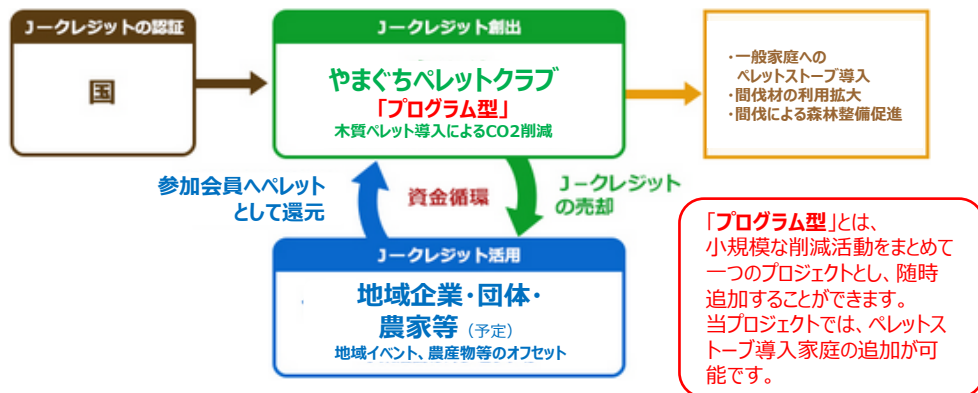


市民参加の「プログラム型」で 木質ペレットストーブ導入によるエネルギーの地産地消！

一般社団法人
木質ペレット推進協議会 山口支部

実施地域：山口県

■ 取組概要



このプロジェクトは、家庭での木質ペレットストーブの導入を対象としたプログラム型事業であり、木質ペレットの活用によるCO2削減量効果をクレジット化する取組です。山口県産の間伐材を利用することで、林業の活性化やエネルギーの地産地消にも寄与しています。木質ペレットストーブは、暮らしの中に柔らかな明かりが灯され、日常生活を楽しみながら環境に貢献できます。



木質ペレットストーブ導入イメージ



山口県の森林



山口産木質ペレット

■ 制度参加のきっかけ・効果

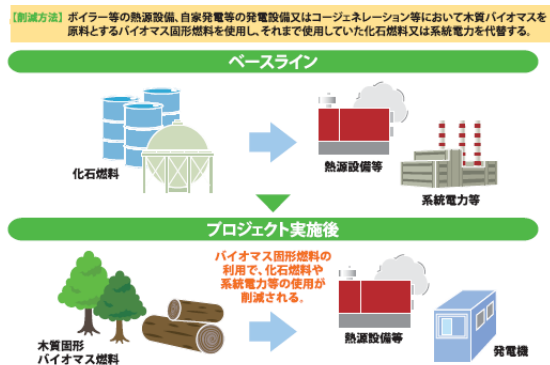


木質ペレットの普及促進にあたって、CO2削減効果を国に公正に評価していただく仕組みを求めています。そのような中、J-クレジット制度のことで知り、中国地域のソフト支援機関の協力を得て、このプロジェクトを進めました。また、J-クレジット制度は「プログラム型」による申請が可能で、1件単位では小さなプロジェクトでも、グループ化することで一定規模のプロジェクトとして登録できる点が、今回のペレットストーブの導入の取組にマッチしていました。

こうしてスタートした「やまぐちペレットクラブ」ですが、J-クレジット制度に参加したことへの反響は大きく、多数の新聞・TV等のメディアで御紹介いただきました。また、「やまぐちペレットクラブ」の会員数は、当初の13から、計画の2倍以上の速さで増加し、既に100を超えるまでに達しています。木質ペレットによる環境への貢献について、共感が得られていると感じています。今後は創出するクレジットを地域イベントや農産物等のカーボン・オフセットへ活用することを目指していきます。取組を通じて、山口産木質ペレットの導入を拡大し、エネルギーの地産地消に促進していきたいと考えています。

一般社団法人木質ペレット推進協議会 山口支部 東田 浩一

■ 方法論：EN-R-001 バイオマス固形燃料（木質バイオマス）による化石燃料又は系統電力の代替



■ CO₂排出量削減見込総量：205t-CO₂

